広報
さめがわ

昭和61年
11月号
No. 395
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



夜間照明付き多目的コートが完成

スポーツを盛んにし、村民の体力増強を図る施設として、山村広場多目的コートがこのほど完成しました。

青少年広場の整備と併せて第二期山村振興事業のなかで行ったもので、総事業費 2,355万円をかけて完成したものです。

コートの総面積は 1,520㎡ あり、テニスコートが2面とれる広さで、このほか更衣室や便所のある管理所1棟も建設されました。

また、1キロワットの投光器が付いた夜間照明施設も完成し、夜間でもテニスの試合やバドミントン、バレーの練習などに使えます。

11月21日～23日　第39回鮫川村文化祭(集中行事)
12月1日～25日　村税完納運動推進月間
10月1日～12月31日　共同募金運動

今月の人口
(11月1日現在)

		前月比
人口	5,491	(+11)
男	2,719	(+10)
女	2,772	(+1)
世帯数	1,129	(−1)

村政のちみ (43)

文化の進展と道路網の機能

村長　石田卯子八

「村の文化は道路から」とは随分聞きなれ、呼びなれた言葉ですが、文化の普及、開発、発展にかかわる道路の機能には偉大なものがあることはいうまでもありません。

「山の赤坂」といわれ、交通不便の地とされた当地域が、古来独自の伝統ある文化を育てつつも、また一面近代文化の導入普及をおくらせたことも否定できません。

それだけに「村の文化は道路から」という標語は村人にとって強い説得力があり、それがここ半世紀余にわたる村民一致の努力によって、道路開発、愛護の思想が高揚され、行政の施策と相俟って大きな成果を挙げることができたわけであります。

かつては村内を通る国道は一本もなく、県道も認定されたというだけで未整備未改修の状態でした。

国道二八九号も一部は山あいの田圃の畦畔を通っていたのであります。

それが新潟県弥彦と白河市をつなぐ国道昇格運動が進められているのを聞き、後から割込む形で、大平洋と日本海をつなぐべしと、当時の勿来市や沿線町村と提携、強力な運動を展開して実現を見ることができました。

国道三四九号は、阿武隈山系開発の主要な柱として、初め広域農道の構想でしたが、規模の大きさから国道以外には途がないので、宮城、茨城の各県当局と協力、建設省ご当局その他関係国会議員各位など多数関係皆様のご尽力によって、国道昇格が実現しました。

当地域の道路網はこれを基幹として、連絡する県道、町村道、集落道の整備が促進されたので、今後一層の進展が期待されるべきであります。

この現実が村の広汎な文化の発展に大きく機能したことは何人も否定できないところで、これからの継続的な協力一致の努力が望まれるわけであります。

更に文化の進展にかかわる要因は広く、特に教育、経済、社会福祉など重要な分野についての併進的、連携的な努力が必要であることを重視しなければならないのであります。

交通安全パレード





「村内から交通事故をなくそう」を合言葉に、村交対協主催の交通安全鼓笛隊パレードが10月５日行われました。

パレードには、鮫川小・西山小鼓笛隊、交通安全協会、交通安全母の会のほか、鮫川村ライオンズクラブの認証状伝達式に集まった全県下のライオンズクラブ員も加わり、総勢約 500人の大パレードとなりました。

パレードは、役場前を出発し農協前～郵便局前～トレセン前～幼稚園前～役場前のコースで、沿道には大勢の村民が待ち受けパレードに盛んな声援が送られていました。

議会チームが優勝

農村振興親善ソフト

農村振興親善ソフトボール大会が、一〇月二五日午後一時から西野区運動広場で開かれました。

大会には、議会議員、農業委員、区長会、農協理事の四チームが参加し、熱戦の結果議会チームが優勝しました。



関根一好さんに農林水産大臣感謝状

農林水産省で行っている統計調査の協力者として、このほど関根一好さん（西山字棚橋）に農林水産大臣の感謝状が贈られました。

関根さんは、農家経済調査の記帳農家として多年にわたり協力され、その功績が評価されたものです。

村内の住宅不足を解消

村営住宅建設工事スタート



▲巡ケ作地内で行われた村営住宅起工式

村内の住宅不足を解消するため、村が計画していた村営住宅の起工式が、一〇月二〇日午前九時から現地で行われました。

村営住宅が建設されるのは、巡ケ作地内・さぎり荘北側の日当たりの良い所で、二二八平方㍍の敷地に四年計画で一〇棟の住宅が建築されます。

今年は二棟の工事が発注され、建物は蛭美工務店（鮫川村）、給排水衛生施設は岡部設備（古殿町）、通路ほ装は藤田組（棚倉町）がそれぞれ請負、来年二月末に完成します。

住宅の構造は、木造平屋建で3DK（三居室、台所）のゆったりした造りで、水道は村の簡易水道、便所は水洗となり、このほか附属施設として物置も建設されます。

二反田地内で 火災防御訓練

火災の多発期に備え、消防団、消防分署合同による火災防御訓練が九月二九日、午前五時五〇分から、富田字二反田地内で行われました。

訓練には、消防団八二名と消防分署一一名、鮫川駐在所署員のほか、地域の皆さんも多数参加されました。

訓練は確実な通報連絡と安全迅速な出動、指揮命令の統一徹底、確実な中継操作及び防御、ジェットシューター隊による火災の消火等に主眼を置き、開始されました。

特に、通報連絡には同報無線が初めて活用され、一一九番で火災通報を受けたあと、直ちに消防分署から村内一斉にサイレンが鳴らされ、火災想定の場所が放送されました。

これを聞いた消防団員が、招集基準に従い火災現場に直行し、消火作業を行う手順となり迅速な連絡体系が確立されました。



▶迅速に行われた消火作業

地域防災の守りはかたし 消防団秋季検閲

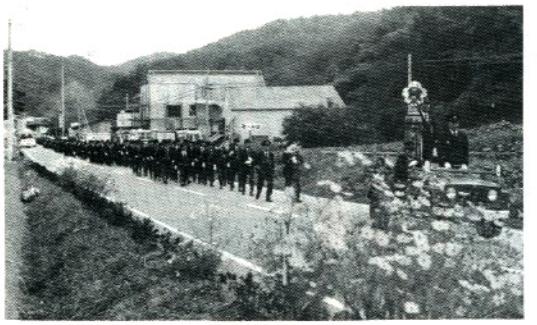
一〇月二日、秋晴れの絶好の天気に恵まれ、恒例の消防団秋季検閲が行われました。

午前七時に同報無線から演習招集のサイレンが村内に一斉に鳴らされ、午前八時四〇分から団員二五〇人が堂々たる市内行進を行いました。

青少年広場に入り、団員の入場行進、無火災祈願の黙とう、通常点検、規律訓練が整然と行われました。

続いて消防操法の模範演技が披露され、来賓の閲団、検閲官の講評の後、松崎団長が全団員を代表して、消防精神の発揚と防火思想の徹底に努め、一致団結して災害の未然防止と被害の軽減を図ることを誓いました。

このあと、役場前に会場を移し、消防ポンプ車二台、消防小型ポンプ二六台による勇壮な一斉放水訓練が行われ終了しました。



▶消防団の堂々たる市内行進

東白公衆衛生大会で 富田区が表彰される

第二一回東白川地方公衆衛生大会が、一〇月二八日塙町農村環境改善センターで開かれ、本村の富田区が表彰されました。

この大会は、健康で住みよい生活環境の向上を目指し毎年開かれているもので、富田区は、春季清掃の際、共同一斉防除活動の功績が認められ、表彰されたものです。

出かけてみませんか 第39回鮫川村文化祭案内

第39回鮫川村文化祭が、次の日程で開催されます。

今年もたくさんの行事が予定されていますので、ご家族そろってお出かけください。

楽しい催し物がいっぱい

山村開発センター

【16日】▷奥の鮫川短歌会／10:00～15:00▷奥の鮫川俳句会／13:30～16:30【21日】▷幼・小・中学校幼児・児童・生徒学習発表会／9:00～12:00【22日】▷映画会（子猫物語）／15:00～17:00【23日】▷お母さんお嫁さんに感謝する会（健康優良児表彰・小・中学生感謝作文朗読・アトラクション＝北上智子・北岡宏一歌謡ショー、ふる里文化芸能クラブの唄と踊り）／10:00～13:00▷カラオケのど自慢大会／13:00～16:00▷お茶会／9:00～14:00

農業者トレーニングセンター

【21日】▷バザー／9:00～15:00

【21日～23日】▷老人作品展▷生活の工夫展▷花嫁衣裳展▷華道展▷書道展▷短歌色紙展▷通信館（版画展、以顔絵コンクール作品展、ＮＨＫコーナー）▷小・中学校児童・生徒作品展▷農業生活改良推進員コーナー▷幼児作品展▷村政写真展▷アマチュア無線公開運用

歴史民俗資料館

【21日～23日】▷文化財・民俗資料等常設展▷中井恒峯日本画展

商工会館

【22日】▷文化講演会（今、日本が問われていること＝元ＮＨＫチーフアナウンサー、大塚利兵衛氏）／13:00～15:00【23日】▷ふれあい広場／9:00～15:00

【21日～23日】▷村内工場製品展

東白川農商高校鮫川分校

【22日～24日】学校祭

イノシシ2頭を捕殺

＝村有害鳥獣駆除隊＝

村有害鳥獣駆除隊（船木正衛隊長）は、一〇月二三日と二四日の両日、農作物被害が届けられていた西山・東石地区に出動し、みごと二頭のイノシシを補殺しました。



▲大物イノシシを捕殺した駆除隊の皆さん

国民健康保険

療養費の保険給付が制限される場合があります

国民健康保険は、被保険者の疾病や負傷、出産または死亡の保険事故に対して、保険給付を行うことになっています。

しかし、被保険者が自己の犯罪行為や闘争、泥酔、または著しい不行跡によって疾病にかかったり負傷したときは、療養費の保険給付の全部または一部が支給されません。

例えば、無免許運転や酒酔い運転などによる自動車事故で負傷した場合は、療養費の保険給付の対象とならず、全額自費診療となりますので、十分注意してください。

移動消費生活センター開催

12月8日(月)

村では、「悪徳商法による消費者被害を防ごう」と福島県消費生活センターの協力を得て、移動消費生活センターを開設します。

これは、日頃県消費生活センターを利用できない遠隔地の人たちのために移動生活センターを開設し、消費生活の啓発につとめると同時に、生活、苦情等の相談に応じるものです。

悪徳商法にひっかからない賢い消費者になるため、多数聴講してください。

◇日　時　昭和六一年一二月八日(月)
午後一時～午後四時

◇場　所　山村開発センター大集会室

◇講座内容　訪問販売、食品添加物について
講話・映画・テスト

丹精込めた盆栽展

村長賞に蛭田一さん

村盆栽愛好会主催による盆栽・野草展が、一〇月二七日から二九日まで山村開発センターで開かれました。

展示会には、会員から約一〇〇点の盆栽や野草が出品され、丹精込めた盆栽に訪れた人たちが見入っていました。

入賞者は次のとおりです。

▽村長賞＝蛭田一▽議長賞＝鈴木昭二▽教育長賞＝水野勝徳▽農業委員会長賞＝鈴木幸夫▽農協組合長賞＝早川光久▽商工会長賞＝大竹茂▽福島民報賞＝本郷良光▽早川新聞店賞＝藤田弘海▽文化団体連絡協議会長賞＝高木正美



▲山村開発センターで開かれた盆栽・野草展

献血ありがとう

一〇月一五日、村内巡回採血で九一名の方々から献血にご協力をいただきました。ありがとうございました。

献血に協力された方は、次のとおりです。（敬称略）

▽斉藤克子▽須藤ヨシ子▽須藤三代子▽藤田ヨシエ▽斉藤美津江▽関根義明▽遠藤一孝▽広瀬敬彦▽柴田照髙▽根本文彦▽藤田芳明▽土手内吉美▽生田目一宏▽増子紀美枝▽白井和男▽生田目清栄▽鈴木敏彦▽松本光子▽鈴木あけみ▽森美樹▽山形まゆみ▽我妻栄美子▽吉成令子▽西戸明美▽中川西功子▽藤田紀美江▽藤田憲一▽芳賀祥子▽藤田あゆみ▽舟木正博▽金沢一四▽蛭田末夫▽高木真知子▽宗田好子▽酒井安代▽長久保美英子▽湯坐好郎▽渡辺三代子▽樋口和典▽板橋源良▽芳賀義美▽高坂仁一▽円井節子▽佐藤博▽鈴木和則▽新妻義美▽近藤保弘▽藤田俊美▽根本良子▽金沢満▽大槃憲子▽須藤泰助▽大槃勝弘▽吉田文子▽鈴木治男▽北條利雄▽坂本清美▽岡崎良一▽矢吹比佐子▽生田目良則▽金沢たよ子▽田子澄江▽蛭田祐子▽須藤カヨ▽鈴木米子▽湯坐良政▽鈴木真理子▽青戸良一▽舟木正二▽斉須寛一▽宗田トミ▽我妻久子▽宗田キン▽芳賀文雄▽本郷まさ子▽藤田洋美▽生田目丈夫▽芳賀正訓▽松本セツ▽工藤敏広▽寺島和子▽大森嘉幸▽渡辺浩佳▽大森茂▽藤田則雄▽赤坂かつ子▽矢吹隆夫▽鈴木令子▽関根サチ子▽津田彰夫▽星正太郎

魚が住みつくふる里の川に

鮫川にヤマメ放流

「ふるさとの川に魚が数多く住みつくように」と鮫川村水産資源保護協会では、一一月一日にヤマメの成魚二〇キロ、約三〇〇匹を放流しました。

放流されたのは役場前の鮫川で、ヤマメは元気よく上流や下流に泳いでいきました。

これからも、河川をきれいにしましょう。



▶ヤマメを放流する協会員

福島県最低賃金が変わりました

福島県の最低賃金が、昭和61年10月10日から別表のように改定されました。

この最低賃金は、福島県内の事業所で使用されるすべての労働者（パート、アルバイト等含む）に適用されますので、使用者は労働者に対してこの最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

詳しくは、福島労働基準局賃金課（☎0245－34－1111）へお問い合わせください。

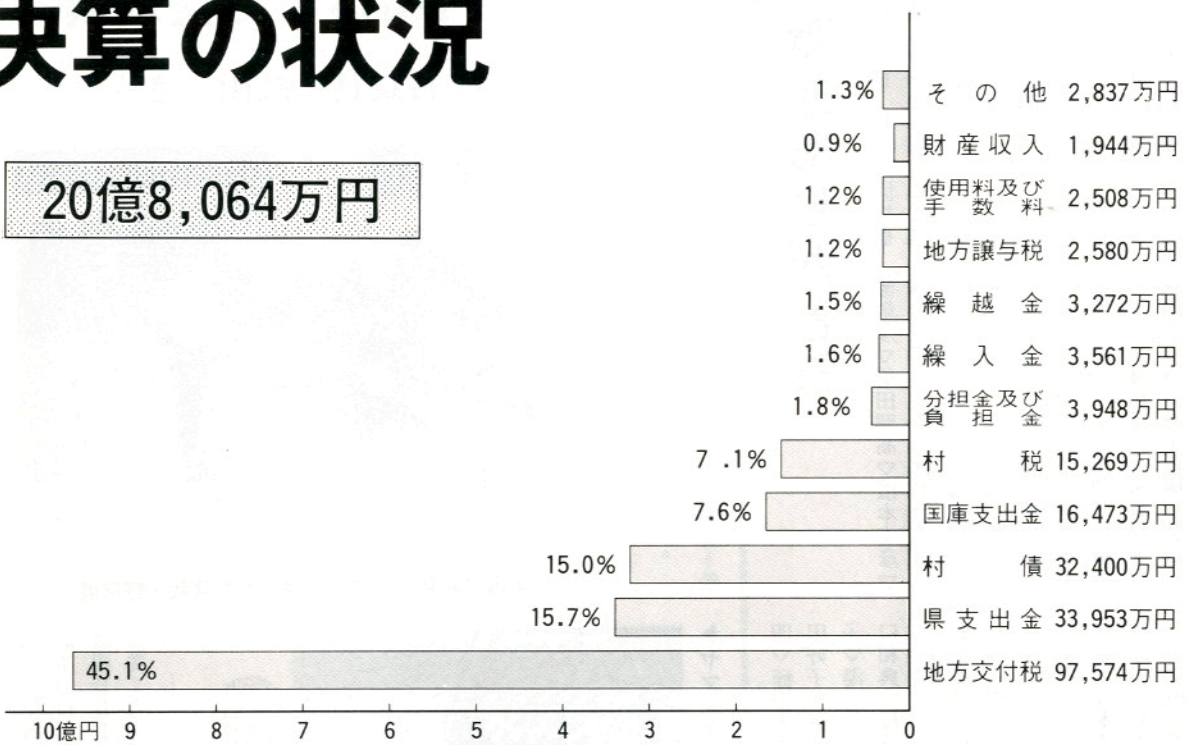
	最低賃金額	備考
福島県最低賃金	1日 3,289円	
	1時間 412円	時間給労働者

※最低賃金額から除外される賃金は①精皆勤手当、通勤手当、家族手当②臨時に支払われる賃金③時間外、休日労働、深夜労働の割増賃金等

決算の状況

20億8,064万円

図1 歳入



昭和六〇年度歳入歳出決算は、一般会計、特別会計とも一〇月八日の定例議会で認定されました。
次にその決算状況をお知らせします。

歳入決算の状況

歳入決算の状況は図1のとおりで、前年度に比べて八・九%（一億七、五九〇万三、五五一円）増加しています。

歳入のトップは地方交付税で、全体の四五・一%を占めています。伸び率は九・四%にとどまり、年々その伸び率が低くなってきています。

県支出金は、飼料基盤整備事業費、農地等災害復旧事業費等の増加により一六・四%の伸びとなり、村債は青少年広場整備事業債、村道災害復旧事業債等の増加により二六・九%と大きな伸び率となりました。

そのほか前年に比べて増減の著しい費目は、繰入金の四〇・一%の減で、これは県単林道整備事業費等の建設事業費への充当額が減少したためです。財産収入の三四・七%の減は、前年に引き続き第一工業団地用地を㈲泰斗に売却し、その売却面積が減少したためです。

村税の状況

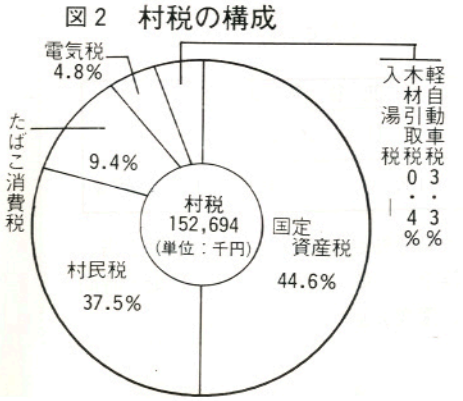
村税の状況は図2のとおりで、六〇年度も収納率は一〇〇%となり、全村継続完納二九年を達成することができました。

全国に誇れるこの伝統を今後も長く受け継ぐため、皆さんのご協力をお願いします。

決算収支の状況（単位：円）

区分		昭和60年度
歳入総額	A	2,163,199,515
歳出総額	B	2,080,643,640
歳入歳出差引額	A－B＝C	82,555,875
翌年度へ繰り越すべき財源	D	41,502,000
実質収支額	C－D＝E	41,053,875
単年度収支額	F	8,335,007
積立金	G	22,001,534
積立金繰出処分額	I	35,000,000
実質単年度収支額	F＋G－I＝J	△ 4,663,459

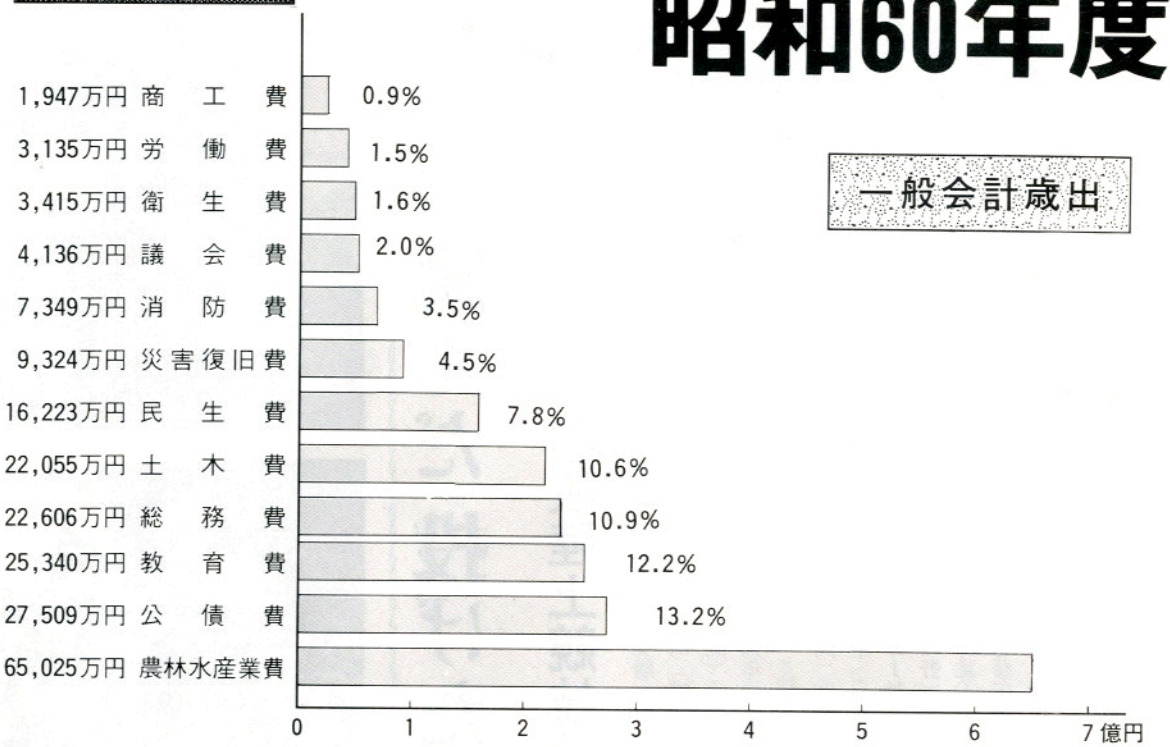
図2 村税の構成



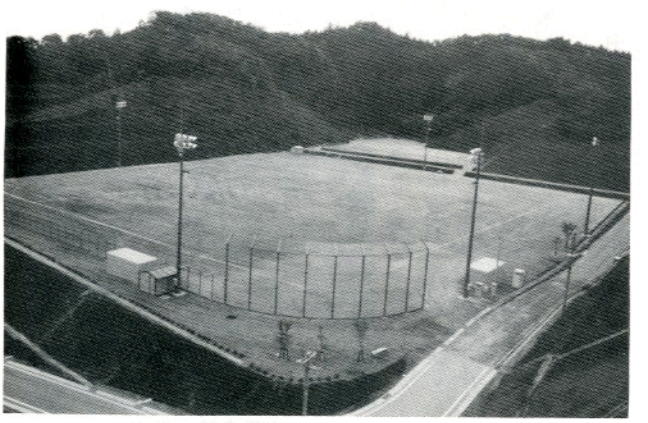
昭和60年度

一般会計歳出

図3 歳出



歳出決算の状況

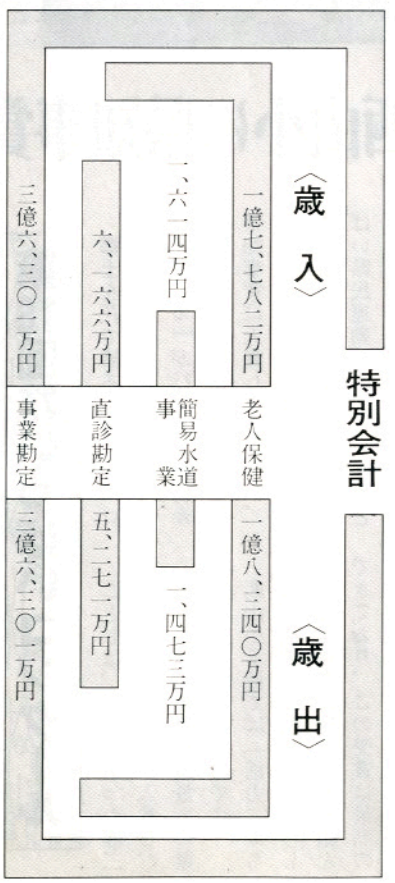


▲2年継続事業で完成した夜間照明付きの青少年広場

歳出決算の状況は図3のとおりで、伸び率の高い費目は、労働費二一・七%、農林水産業費一五・八%、災害復旧費二五六・七%、公債費七・七%等となっています。

労働費の増は、人件費の増によるもので、農林水産業費は飼料基盤整備事業の増加によるものです。災害復旧費は、一月の異常低温、三月～四月の融雪、六月の台風六号、七月の集中豪雨等で、公共土木施設及び農林水産業施設災害復旧事業費の増加によるものです。

公債費は、各種建設事業等に借り入れた起債の元利償還金の増によるもので、昭和六〇年度末の現在高は一八億三、八四七万一、〇〇〇円となっています。







西山小に県知事賞

第19回花いっぱいコンクール

郷土を花で飾ろう――をスローガンに「第一九回花いっぱいコンクール」が行われ、本村から応募した西山小学校がみごと県知事賞に入賞しました。

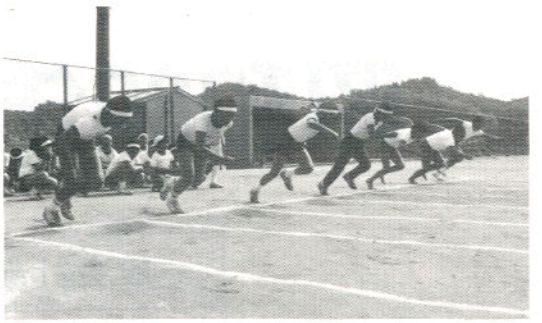
このコンクールは県緑化推進委員会などが主催し、〝花いっぱい県民運動〟のメーン行事として毎年行われています。

ことしは、応募のあった四二〇点の中から六八点が入賞し、このうち西山小学校は最高の県知事賞に入賞したものです。

西山小学校では「活力にみちた教育活動の実践」の一つとして、毎年花だん作りに取り組んできており、この受賞は最高の喜びとなりました。

走った跳んだ投げた!!

小学校陸上競技記録会



▷男子一〇〇メートル走

村内小学校の陸上競技記録会が九月三〇日、午前九時三〇分から鮫川村青少年広場で行われました。

村内の小学校六校から三年生以上の児童が参加し、男女それぞれ八種目に熱戦が繰り広げられました。

成績は次のとおりです。

■男子

◆三年▽五十㍍①鈴木隆裕（鮫川）8秒5＝大会新②舟木貴志（西野）8秒8＝大会タイ③鈴木文明（鮫川）3㍍12②鈴木隆裕（同）③高野英雄（西山）

◆四年▽五十㍍①大河内努（鮫川）8秒5＝大会新②中川西正幸（同）③関根裕則（西山）▽中距離走（六百㍍）①諸橋忠男（鮫川）2分1秒9＝大会新②舟木敏勝（西野）③蛭田利幸（鮫川）▽走幅跳①大河内努（鮫川）3㍍57②藤田雅教（渡瀬）③中川西正幸（鮫川）

◆五年▽百㍍①湯坐秀弥（鮫川）15秒5②堀川優（青生野）③高坂誠治（西野）▽八十㍍ハードル①柿沼崇（鮫川）15秒2＝大会新②前田大助（同）③吉田朗（西野）▽中距離走（八百㍍）①矢吹智（西野）2分43秒4＝大会新②松本和（富田）2分44秒4＝大会新③坂本長生（同）▽走幅跳①柿沼崇（鮫川）4㍍＝大会新②芳賀浩二（西山）③鈴木富男（渡瀬）▽走高跳①坂本長生（富田）1㍍13②舟木裕樹（鮫川）②芳賀正洋（渡瀬）▽ソフトボール投げ①芳賀正洋（渡瀬）48㍍10②石井幹夫（鮫川）③芳賀篤徳（同）



△出番を待つ児童たち

◆六年▽百㍍①緑川賢一（西山）14秒8②鈴木博勝（西野）③鈴木孝次（鮫川）▽八十㍍ハードル①鈴木晴之（鮫川）15秒2②生田目昌信（同）③鈴木博勝（西野）▽中距離走（千㍍）①鈴木孝次（鮫川）3分40秒6②関根直人（西山）③薄葉昌章（西野）▽走幅跳①緑川賢一（西山）3㍍99②諸橋晴彦（鮫川）③渡辺秀樹（富田）▽走高跳①鈴木晴之（鮫川）1㍍25②白坂哲章（同）③生田目満（青生野）▽ソフトボール投げ①中川西強（鮫川）52㍍13②斉藤克也（西野）③須

藤重晴（鮫川）▽四百㍍リレー①鮫川小Ｂ１分１秒３＝大会新②西山小③西野小④富田小⑤青生野小⑥鮫川小Ａ

■女　子

◆三年▽五十㍍①白坂咲美（鮫川小）８秒７＝大会新②北條真澄（西野）８秒７＝大会新③蛭田睦美（渡瀬）８秒９＝大会新▽走幅跳①芳賀美紀（渡瀬）２㍍74②矢吹百恵（富田）③岡部有希（青生野）

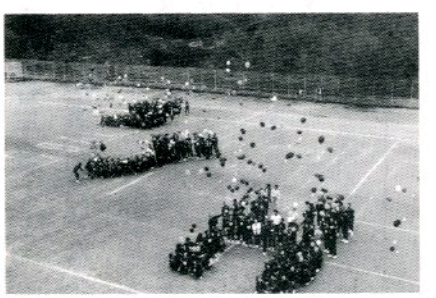
◆四年▽五十㍍①西野千春（西野）８秒８②矢吹幸恵（鮫川）③田子裕子（同）▽中距離走（四百㍍）①矢吹幸恵（鮫川）１分21秒２②鈴木美幸（西野）③西野千春（同）▽走幅跳①鈴木美幸（西野）３㍍21②佐川文子（鮫川）③藤田真弓（同）

◆五年▽百㍍①舟木千春（西野）15秒８②佐川和枝（鮫川）③岡部重美（青生野）▽八十㍍ハードル①早川桐子（鮫川）17秒５②石井亜矢子（西山）③円谷恵（富田）▽中距離走（六百㍍）①円谷恵（富田）２分５秒８②円井こずい（鮫川）③霜田知子（西野）▽走幅跳①鈴木里実（鮫川）３㍍33②鈴木和子（富田）③我妻貴美子（西山）▽走高跳①佐川和枝（鮫川）１㍍15＝大会新②緑川エミ子（同）③根本百代（西山）▽ソフトボール投げ①円谷恵（富田）31㍍34②小松由紀（鮫川）③佐川和枝（同）

◆六年▽百㍍①蛭田みゆき（渡瀬）14秒７＝大会新②水越恵美（西山）③青戸弘子（富田）▽八十㍍ハードル①円谷里美（富田）16秒３②芳賀洋恵（渡瀬）③山本洋子（鮫川）▽中距離走（八百㍍）①青戸弘子（富田）２分53秒８②石井久美子（西山）③生田目真子（富田）▽走幅跳①蛭田みゆき（渡瀬）３㍍83＝大会新②生田目真子（富田）③木田理奈（西野）▽走高跳①円谷里美（富田）１㍍30＝大会新②山本洋子（鮫川）③関根裕子（西山）▽ソフトボール投げ①市川珠江（西山）42㍍８②蛭田みゆき（渡瀬）③赤坂国子（富田）▽四百㍍リレー①渡瀬小１分５秒２②西山小③富田小④鮫川小Ａ⑤鮫川小Ｂ⑥青生野小


◁大会新が出た女子走高跳

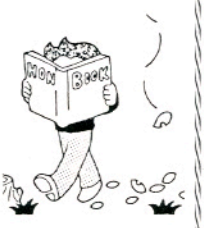
鮫川中で「壇の岡祭」



鮫川中学校生徒会主催の「壇の岡祭」が一〇月六日と七日の両日にぎやかに行われました。

九回目を迎えた今年の祭では意見発表大会、映画鑑賞、お祭運動会、モザイク画発表会、風船メッセージなど多彩な催し物が行われ、生徒たちはめいっぱい楽しんでいました。

祭のフィナーレを飾る風船メッセージ



文芸

俳　句

鮫川高校　沢　草二

釣舟草百花漕ぎ出す風の谷
反　田　小山田清哲
線に乗る一足一歩秋晴るる
道少田　山本五十鈴
鈴の音か座敷童子の咳きか
宿ノ入　田中　義明
生き甲斐のとぼしき老いの菊づくり
横　座　矢吹　茂
朝寒を話題に夫婦ともに老ゆ
上　高坂　蚯切
男くさきもの濯ぎいる菊日和
大　塩　矢吹　呂孝
台風の去りて定まる稲穂かな
新　宿　斉須　信子
母の声ひろがり透る十三夜
いわき市　金沢　暁舟
紅葉谿くだる園児の手の団子
道少田　山本　朗史
職終えし身に大方は虫の栗
火打石　佐藤　保
朝霧のすそより晴れる八溝山

短　歌

新　宿　杉山　忠男
季の移りゆかし風情ぞ初霜に真向ふ樺の葉ちらほらと散る
棚　橋　関根　一好
思うこと成らず過ぎたり柿の実の陽に耀よいる色づきそめて
名　下　須藤美代子
脱穀の終えし田んぼの塵を焼く咽たきにおい闇を這いくる
越　虫　星　武
夜の雨止みて晴れたる峡の霧山肌に添え這へのぼり消ゆ
広　畑　岡部ヒサ子
夫は掩ぎ私は拾う背戸山の残りしあけび紫に映ゆ
関　口　藤田　マサ
受話器より小遣い送るの声ひびく還暦半ばし出稼ぐ夫より
折　戸　阿久津ミツ
中ノ沢出で湯に浸り臥す床に河鹿の声を快く聞く
遠ケ竜　須藤　幸子
楚々と咲く芙蓉の花に寄りゆけば蝶のとまりてみじろぎもせず
巡ケ作　鈴木　米子
「里の秋」口ずさんでみる亡き母の思い出よぎる静かな夜に

農委だより

═農地の流動化を推進═

農用地利用増進事業推進月間
10月1日～11月30日

本村は昭和五五年に農用地高度利用促進事業の指定を受け、現在まで約七八ヘクタールの農用地の利用権が設定されました。

農用地の有効利用及び担い手の育成と中核農家の規模拡大等で、いかに村の農業を振興させるかは重要な課題となっています。

農用地利用増進事業は、これらの課題を推進するための一つの制度で、県、市町村では、一〇月一日～一一月三〇日までを、「農用地利用増進事業の強化月間」と定め、農用地の貸し借りを積極的に推進することにしています。

農用地利用増進事業で貸し借りをすると次のような特例、特典があります。

〔貸し手の優遇〕

○農地法の手続きがいりません。
○貸しても、約束の期限がくれば離作料を支払うことなく、確実に返してもらえます。
○三年以上貸した場合には、農地流動化奨励金が交付されます。（別表参照）
○離農給付金などの特典もあります。
○小作料の、一括前払いをうけることもできます。

〔借り手の優遇〕

○農地法の手続きがいりません。
○期間中は安心して耕作ができ契約更新もできます。
○規模拡大により生産コストの低減、農業所得の向上が図れます。
○小作料の一括前払を行う場合は、経営規模拡大資金の貸付けが受けられます。

農地流動化奨励金交付一覧表（10a当り）

		新規	再設定
奨励金額	3年以上～6年未満 農地	8,000円	—円
	3年以上～6年未満 採草放牧地	1,600	—
	6年以上～10年未満 農地	20,000	16,000
	6年以上～10年未満 採草放牧地	4,000	3,200
	10年以上 農地	30,000	24,000
	10年以上 採草放牧地	6,000	4,800

農業者年金経営移譲年金
受給対象者の説明会開く

村農業者年金協議会主催による農業者年金経営移譲年金説明会が、去る一〇月二〇日村農業技術指導センターで開かれました。

この説明会は、経営移譲年金申請の円滑化をはかることを目的に行っているもので、昭和三年生まれの方々を対象に行われました。

現在、村内の農業者年金被保険者数は三九五名で、このうち経営移譲年金のみ（六〇才～六五才未満）を受給している方は九五人となっています。さらに農業者老令年金と経営移譲年金の一〇分の一を受給している方（六五才以上）は六五人になっており、約三分の一の方々が受給しています。

当日は、該当者二五名が出席し、真剣にメモをとっていました。

質問の大部分は、農地の名義と後継者が同居していないのでどのようにすれば受給ができるのかという問題に集中し、又その後個人別の打合せを行ない、時間の経過が心配になるほど盛会のうちに終了しました。

農業者年金
受給者の皆さんへ

農業者年金の、経営移譲年金及び農業者老令年金は、所得税法により給与所得とみなされ、年間支給額が六〇万円以上になりますと所得税の源泉徴収の対象となります。このため、昭和六二年分の受給額が六〇万円以上になる方は、農業者年金基金から「扶養控除等申告書」が送付されてきています。次のような受給者で、年金を「主たる給与とする場合」又は「従たる給与とする場合」であって配偶者控除等を受けようとする方は、扶養控除等申告書の記入注意をよくご覧になって記入し、提出期限の昭和六一年一一月二〇日までに農業者年金基金に必着するよう提出してください。

この年金を主たる給与とする旨の申告をした場合は、源泉徴収は行われませんが、申告をしない場合は、所得税を差し引いた後の金額で支払われます。

なお、不明な点がありましたならば、村農業委員会へお問い合せください。

ことばの辞典

ブロック・ローテーション

ブロック・ローテーションとは、集団的土地利用における形態の一つで、集団地を一年ごとに移動し数年周期で回転させることをいいます。

この他、集団地を特定箇所に固定する団地固定型、数年おきに畑状態、水田状態を繰り返し田畑輪換のメリットをあわせ追求しようとする田畑輪換型があります。畑の連作障害を考えれば、このうち、ブロック・ローテーション型、田畑輪換型が望まれます。

現実には、地域の関係農家の転作に対する負担を平等にするためのブロック・ローテーション型がもっとも多いが、将来は合理的な田畑輪換を定着させるため、田畑輪換型への移行が望まれます。

公民館だより

成人式の参加申込み 12月16日まで

第三九回鮫川村成人式を、昭和六二年一月一五日（木）鮫川村山村開発センターで行います。

式に参加を希望される方は、次によりお申込みください。

なお、村に住民登録をしている方は、申込みの必要はありません。

一、対象者　昭和四一年四月二日から昭和四二年四月一日までに生まれた方

二、申込み方法　成人される方の氏名、生年月日、現住所、父（母）名、続柄、父（母）住所を記載（用紙は何でも結構です）の上、一二月一六日（火）までに、鮫川村山村開発センターに申込んでください。（電話による申込みは、住所など間違いやすいので受付いたしません）

成人者の感想文を募集します

村では、今回成人を迎えられる皆さんの感想文を募集します。市販の四〇〇字詰原稿用紙二枚程度に「成人にあたっての感想」を記載して、一二月一六日（火）までに鮫川村山村開発センターまでお寄せください。



▶昨年の成人式



▶熱戦が展開された家庭バレー（右）とソフト（下）



熱戦を繰りひろげた 健康づくり秋季球技大会

スポーツを通して、村民の健康づくりと親ぱくを図る第三六回鮫川村健康づくり秋季球技大会が、一〇月一〇日体育の日に開かれました。

熱戦の結果は次のとおりです。

ＯＢソフトボール
優　勝＝西野ＯＢ
準優勝＝富田ＯＢ
三　位＝西山ＯＢ
〃　＝中野ＯＢ

壮年ソフトボール
優　勝　東石
準優勝　新宿
三　位＝西山Ａ
〃　＝西山Ｂ

青年ソフトボール
優　勝＝西山三区
準優勝＝サンライズ
三　位＝西山東
〃　＝諏訪

家庭バレーボール（Ａブロック）
優　勝＝渡瀬Ｂ
準優勝＝中野Ｂ
三　位＝渡瀬Ｃ
〃　＝官代

家庭バレーボール（Ｂブロック）
優　勝＝渡瀬
準優勝＝すみれ
三　位＝西野Ａ
〃　＝青生野

婦人講座のお知らせ



農閑期を利用して、本年も婦人講座を次により開催致しますので、皆様のご要望・ご意見等をお知らせください。

一、主催　鮫川村公民館
二、対象者　村内居住の成人女性
三、日時・会場は各地区の希望に応じる。
四、受講料　無料（教材費は個人負担）
五、連絡先　村公民館か村婦人会各分会長
六、講座内容例　▽暮しと法律▽税のはなし▽成人病とその予防▽人生と生きがい▽食事と健康▽村の行財政▽青少年の家庭教育▽母親の行う性数育▽料理教室▽着付け教室▽各ダンス教室▽婦人のための軽スポーツ（この外希望に応じて講座を開催します）

遺族援護・恩給業務

巡回相談会の開催

遺族援護及び恩給業務相談会が次により開催されますので、希望の方はお出かけください。

◇日　時　一二月二日（火）
　九時三〇分～三時まで

◇会　場
　東村総合福祉センター

◇相談内容
　1、戦傷病者援護関係について
　2、戦没者遺族関係について
　3、軍人恩給関係について

出席される方は、相談内容に関する資料を持参してください。

秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日

「防火の大役あなたが主役」を統一標語に、秋の全国火災予防運動が一一月二六日から一二月二日まで実施されます。

これから、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、防火思想の普及を高めるとともに、尊い人命と貴重な財産を火災から守るために実施されます。

この期間中に、消防団員が全家庭を巡回し火防督励を行うほか、消防機械器具、消防水利等の点検を実施しますので、火災予防にご協力をお願いします。

おめでた

十月

酒垂　石井　克明　父石井良夫
沼野沢　本郷　毅　父本郷　長
宝木　渡部　祐樹　父渡部高男
宿ノ入　大河内正紀　父大河内由夫
官沢　五十嵐　務　父五十嵐一郎
戸草　岡部　佑樹　父岡部弥一
青生野　金田　直　父金田十一

心配ごと相談

11月20日（月）
午前10時～午後2時
山村開発センター
行政相談

共同募金運動



10月1日～12月31日

人権週間

12月4日～10日



法務省と全国人権擁護委員連合会では、世界人権宣言の採択三八周年を迎えるに当り、一二月一〇日の「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」とし人権意識の高揚を図ることにしています。

村では、法務大臣から人権擁護委員に委嘱された次の方々が、いつでも相談に応じていますので、気軽にご相談ください。

人権擁護委員
大楽勝男　☎四九－二二〇一
鈴木嘉上　☎四九－二五二七

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
11月16日(日)	和田	根本厚生病院	慈泉堂
23日(日)	阿部		
24日(月)	藤田		
30日(日)	勝田	石川	木村金沢
12月7日(日)	菅原		
14日(日)	薄葉		

ゴミの収集日

収集コース	種別	11月	12月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	17.20.27	1.4.8.11.15 18.22.25
	不燃物	28	12.26
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	18.20 25.27	2.4.9.11.16 18.23.25
	不燃物	28	12.26
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	27	11.25
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	26	10.24
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	5
宮代～檜久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	28	12.26

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

雇用保険不正受給防止啓発月間

11月1日～30日



雇用保険の失業給付は、失業者の生活安定と再就職の促進を図ることを目的としていますが、この趣旨に反し不正の行為によって失業給付を受ける人が後を断ちません。

一一月は「雇用保険不正受給防止啓発月間」です。いざというときに役立つ失業給付金。一人一人が正しく使うよう心がけてください。

今月の納税　固定資産税(4)　国民健康保険税(6)　納期限11月25日(火)